



院長 池原康一

『寄り添うということ』

先日、災害をテーマにした学会に参加する機会がありました。多くの医療関係者の発表があり大変勉強になりました。政府は今後30年以内に70%以上の確率で日本に大災害が起こると予想しており想定訓練を重ねています。私達もそれに備える必要があると感じました。一方で今回の発表で多かったのは昨年4月の熊本地震についてです。様々な組織や機関からの活動報告がありました。通常、医療支援は短期的なものです。しかし、被災地の復興は中長期的に考えなければなりません。今月(3/11)で6年となる東日本大震災の復興もまだ不十分です。しかし、被災していない私達は日常生活の中でいつの間にかそれらの災害のことを忘れ自分自身の幸せのためだけに生きているように感じます。幸せを求めることはいけない事ではありませんが、日本あるいは世界のどこかで災害などで苦しんでいる方々が多いうことを心の隅に留めて歩みたいものです。具体的には支援が出来なくても「あなたたちのことを忘れていませんよ」という「寄り添う心を持ち続けたい」ものです。被災された方々へお見舞い申し上げます。



Smile & Smile

～ ガーデニング部 ～

環境整備の一環として緑化活動に取り組んでいます。

- ① 駐車場横の花壇の草刈を行いました。
(Before After ⇒)
- ② 病院前の国道390号線の植樹帯に花々(マリゴ・ルド&バーク)を植えました。
- ③ 当院を建設した佐藤工業様より昨年末にいただいて、冷蔵庫にて冬眠させていた「チューリップの球根」を同植樹帯に植え綺麗な花を咲かせています。
- ④ 現在は駐車場横の花壇を整備中です。

病院へ来られる患者様やご来院する皆様の心が和むような雰囲気作りに貢献したいと思います。

施設 池田吉広



「おでかけ健康講座」受付中です

無料

「八重山みんさー織り」

本誌の表紙や裏表紙にも利用している「みんさー柄」ですが、今から約400年前に八重山地方でも木綿栽培が始まったころから伝統的な織物として継承されてきました。

その柄の特徴としては、五つの四角が「いつの」を表し、四つの四角が「世」を意味しています。それは『いつの(五)世(四)までも末永く…』と女性から愛する男性に対する想いが込められているそうです。

現在ではいろんな製品が作られています。伝統的な帯や着物の他に、観光のお土産にもおすすめのバックや財布・名刺入れ・コースター・マウスパットなど…

ここにも八重山文化の魅力が満載です。



エメラルドの海を思い出しますね!

愛のメッセージ

「いつの世までも末永く…♥」

